



Bay機構だより

国際シンポジウムの開催 「広域関西圏：未来へのチャンス～自立した 広域関西圏づくり戦略を探る」

東京一極集中が強まるなか、関西においては、関西圏の将来ビジョンの策定、関西広域連合の結成など、各方面で取り組みが推進されている。その一助となるべく、ヨーロッパ都市計画のリーダー、ドイツのドルトムント大学名誉教授クラウス・クンツマン氏の来日を機会に、下記のとおり国際シンポジウムを開催した。

基調講演ではドイツにおける都市・地域政策について、パネルディスカッションでは、ドイツと日本の大都市圏戦略の違いや提案など活発な発言があった。

★日時：平成 23 年 11 月 28 日
14 時～17 時

★参加人数：76名

★プログラム

基調講演：「創造的な広域圏の統治」

クラウス・クンツマン氏

ドルトムント大学名誉教授

パネルディスカッション：

「広域関西圏の未来 日-欧-米の比較」

パネリスト

クラウス・クンツマン氏

青山公三氏

(京都府立大学公共政策学部教授)

加藤恵正氏

(兵庫県立大学政策科学研究所長・教授)

瀬田史彦氏

(大阪市立大学大学院准教授)

コーディネーター

杉原五郎氏

(株)地域計画建築研究所代表)

★共催

大阪市立大学創造都市研究科、(株)地域計画研究所、大阪ガス(株)、一般財団法人計量計画研究所

基調講演での発言から

ヨーロッパという、異なる言語、文化、宗教、仕組みをもつ地域の中では、国ではなく、パリ、ロンドン、マドリッド、ミラノ、アムステルダムなど大都市圏が力を持っている。大都市圏ガバナンスでは、空間的な境界や目標年次を固定化したマスタープランではなく、地域がどちらに向かっていくかというビジョンを関係者で共有することが重要である。また、グローバルな都市間競争時代を生き抜くには、地域固有の資源を活用し、生活の質の向上を目指すべきである。既存の制度や仕組みにとらわれず、フレキシブルでオープンな方法で挑戦していく姿勢が求められる。

ドイツを事例とし、都市地域のガバナンスの目標設定、改善方法について、下記10項目の提案を披露された。

- ①柔軟性のある機能的な境界を認める
- ②地域の情報を改善
- ③地域のビジョンを策定
- ④都市地域のアイデンティティの促進
- ⑤地域イノベーションネットワークの強化
- ⑥第三セクターの支援
- ⑦域内協力のための触媒プロジェクトのデザイン
- ⑧出会いの機会の創造
- ⑨域内のサクセスストーリーを伝達する
- ⑩信頼関係の確立



2011年度視察会「うめきた～グランフロント大阪～」の開催

平成24年2月21日、参加者27名で、JR大阪駅の北側に位置する再開発地区「うめきた～グランフロント大阪」の視察会をおこなった。大阪駅北地区約24haの開発地区のうち、「グランフロント大阪」は7ヘクタールの先行開発区域の施設群のことだ。

来春のオープンにむけて工事が着実に進んでいる。

まず、梅田スカイビルタワーイースト6階にある「グランフロント大阪PRセンター」にて、三菱地所㈱さまからPRビデオやジオラマ（都市模型）を使っでの説明を受けた。その後、大阪市さまから「大阪駅周辺地区」のこれまでの経緯や今後について、また、㈱ナレッジ・キャピタル・マネジメントさまからは、新たな知的価値の創出として、未来を担う新しい商品やビジネス、企業・人材をつくる場としての可能性をお聞きした。平成25年の「まちびらき」が待ち遠しい。



第8回ほっといたらあかんやん！大阪湾フォーラムの開催

このフォーラムは、大阪湾沿岸で環境保全活動を行っている市民団体、研究機関、行政機関の連携である「大阪湾見守りネット」が主催で1年に1度開催している。当財団は、第1回目から後援をおこない、なぎさ海道事業をPRしている。

今年は、① 大阪湾の取り組みを次世代の担い手へ継承していくための第一ステップとする ② 中学生・高校生・大学生が主役となれる場とする ③ 次世代を担う若者たちから全国へ発信する、を目的に開催し、約250名の参加があった。

◆日時 平成24年3月4日（日）

◆場所 神戸市立須磨海浜水族園

◆プログラム

SMAPro～さぁ須磨から未来に発信～

◆活動報告とポスターセッション

「尼崎の海からつながる環境改善の取り組み：尼崎市立成良中学校」「泉南地域の海岸におけるフナムシ、キタフナムシの分析調査：大阪府立泉鳥取高校&りんくう翔南高校」「大阪湾の生き物に関する調査・研究：岸和田市立光陽中学校」「小浜湾アマモマーメイドプロジェクト：福井県小浜水産高校」「尼崎港・運河の水質調査と環境再生への取り組み：兵庫県立尼崎小田高校」「大和川での天然アユの遡上：大阪市立大学」「大阪湾再生プロジェクト：大阪コミュニケーションアート専門学校」ほか

